

太鼓奏者・音楽家の皆様へ

タイコズ TaikOzはオーストラリアのシドニーを拠点に活動している、プロの和太鼓アンサンブルです。現在、新メンバーを募集しており、**2017年7月1日**にオーディションを開催することになりました。タイコズのメンバーとして演奏活動を行いたいと思っている方、さらにタイコズの音楽的・教育的活動に参加するために必要な技術と心意気を持ち合わせ、新しい技術を発展させる可能性もあると確信している方は、以下の情報のご一読の上、ぜひご応募下さい。またご質問等ありましたら、英文でお気軽にお問い合わせ下さい。

ご応募をお待ちしております。

タイコズ TaikOz芸術監督 イアン・クリワース (Ian Cleworth)

メールアドレス：[ad@taikoz.com](mailto:ad@taikoz.com)

タイコズ **TaikOzは高いレベルの音楽性と太鼓演奏能力を持つ演奏者を募集しています。**

2017年、タイコズは音楽の創作活動を始めてから20周年を迎えた。その歴史の中で多数の主演公演をオーストラリア国内および海外で行い、著名なアーティストとの共演にも参加し、芸術性の高いオリジナル作品を創り続けることによって高い評判を獲得している。

過去3年間のタイコズの多彩な活動は以下の通り。

- シドニー・フェスティバルで初演したオリジナル作品「Chi Udaka」のインドとオーストラリア東部ツアー
- アメリカ合衆国ツアーおよびニュージーランドツアー
- 太鼓芸能集団「鼓童」名誉団員 小島千絵子氏とのオリジナル作品「The Beauty of 8」、ニューヨークの篠笛・太鼓奏者 渡辺薫氏とのコラボレーション「Future Directions」を始め、メジャー・アーティストとの共演多数
- 一ヶ月間のオーストラリア国内ツアー
- 数ヶ月間の学校公演ツアー
- 数回のオーストラリアの都市・町を回る短期国内ツアー

タイコズの2017年のスケジュールでは創立20周年を記念する新作を予定しており、2018年にいくつかのプロジェクトを企画している。本アンサンブルは、シドニーで週に4日はグループ・トレーニングを行い、メンバーはそれぞれ他にも少人数のグループ・セッション、創作開発期間、個人練習、集中リハーサル期間に参加し、さらには指導活動を行っている。タイコズは日本の浅野太鼓と宮本太鼓による手造りの美しい太鼓を数々所有しており、非常に幸運といえよう。

## 応募手続き

7月1日(土)にシドニーで開催されるオーディションに応募したい方は、メールにてタイコズ芸術監督 Ian Cleworth (イアン・クリワース) まで以下の内容を英文でお送り下さい。

- 応募理由書：<sup>タイコーズ</sup>TaikOzに入りたい理由に加え、経験や技術など<sup>タイコーズ</sup>TaikOzに貢献できると思われるもの（1～2段落ほどの長さの文）
- 太鼓および音楽教育に関するプロフィール
- 演奏歴（リスト）

応募メールは**2017年6月2日必着**とします。

英語圏以外からの応募者には、条件として日常英会話ができる程度の英語能力（初級～中級の英語）が必要です。また、応募メールはすべて英語で書いて提出する必要がありますのでご了承ください。

書類審査にて第一次候補者を選抜することがありますので、実際のオーディションには参加できない可能性があることをご了承ください。オーディションへの参加の可否は**2017年6月5日**までにお知らせいたします。また、オーディションに向けて準備する曲のリスト、楽譜、そしてビデオ映像等はその際にご案内いたします。

オーディションは**2017年7月1日**にシドニーにある<sup>タイコーズ</sup>TaikOzのウルティモ・スタジオで開催いたします。当日、シドニーでのオーディションに参加できない方は、以下のビデオ・オーディションの提出に関する情報をご確認下さい。

尚、<sup>タイコーズ</sup>TaikOzはオーストラリア・シドニーに拠点があるため、本アンサンブルに入団される方は全員シドニーに住む必要があります。ご理解の上ご応募下さい。

## 重要な日付

1. **6月2日**：応募締切（必着）
2. **6月5日**：オーディション参加の決定・通知
3. **7月1日（午後1：30～4：30）**：オーディション

\*実際のオーディションへの参加をお願いしておりますが、万が一可能ではない場合は、下記の条件で映像を提出する必要があります。

- 編集されていないもの
- 正面から撮影されているもの
- 演奏エリアへの登場、演奏後の退場を含むもの
- 高品質の映像と音で撮影されているもの

オーディションのご案内と共に、ビデオ映像のファイル、フォーマットの形式、また提出方法についてご案内いたします。

## オーディションの必要項目は以下の通りです。

- 締め太鼓（あぐらを組んで座った姿勢で叩く）
- 長胴太鼓（屋台囃子スタイル、床に座って叩く）
- 大太鼓（ソ口）
- 太鼓セット（太鼓3台のセット、即興を含む演奏）

- 担ぎ桶胴太鼓
- 振り付けのある太鼓演奏（ビデオで覚えた振付を、太鼓を担いで、動きながらバチ一本で演奏する。）
- 自由演目（自身で作曲した3～4分のソロ。応募の際、楽器の種類と数、演奏スタイルをお知らせ下さい。）

## タイコース TaikoZについて

1997年以來、洗練さと優美さを備えつつ爆発的なエネルギーと極限のダイナミズムを融合させ活気に溢れるパフォーマンスを通じ、<sup>タイコース</sup>TaikoZは国際的評価を高めている。尺八の繊細なメロディーから大太鼓の雷のような衝撃波まで、<sup>タイコース</sup>TaikoZは瞑想的かつ自由奔放であり、原始的かつドラマチックなアンサンブルである。

本アンサンブルは年間を通じてワークショップ、指導、そして演奏活動を行い、オーストラリア及び海外の一流のコンサートホールでの出演実績を残している。海外公演は日本、アメリカ合衆国、フランス、ニュージーランド、タイ、台湾、アラブ首長国連邦、そして最近ではインドでリンガラヤム舞踊団との共演作品「<sup>チ</sup>Udaka」のツアーを行い、高い評価を得た。

オーストラリア国内にある劇場では定期的に演奏活動を行い、長期国内ツアーは6回行っている。<sup>タイコース</sup>TaikoZは和太鼓のオリジナル作品を30曲以上創作し、その中には尺八、琴、マリンバ、サククス、チェロ、ドラムセット、ディジュリドゥを含む楽器と和太鼓を組み合わせた曲も多数ある。また、著名な作曲家のジェラード・プロフィー氏、アンドレア・モリーノ氏、マイケル・アスキル氏、デヴィッド・パイ氏、グレアム・クーネ氏、ティモシー・コンスタブル氏らが<sup>タイコース</sup>TaikoZのために作品を提供している。

ジョン・ベル氏とベル・シェイクスピア・カンパニー、太鼓奏者の巨匠・<sup>はやしりてつ</sup>林英哲氏、ケニー<sup>えんどう</sup>遠藤氏、渡辺薫氏、そして著名な振付家メリル・タンカード氏とアナンダヴァリ氏を始め、<sup>タイコース</sup>TaikoZは様々なアーティストやカンパニーとのコラボレーションを行ってきた。2012年には、太鼓芸能集団「<sup>こどう</sup>鼓童」と共演し、オーストラリア国内でのツアーを行った。また、シドニー、メルボルン、西オーストラリア、クイーンズランドの交響楽団やヨーロッパのドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団と共演をし、協奏曲を披露した。

<sup>タイコース</sup>TaikoZの受賞歴として、オリジナル作品「怪談」にライムライトの新作曲賞、オーストラリアの音楽への貢献に対してシドニー・マイヤー・パフォーミング・アーツ賞、地域ツアーや教育にドラーヴァー賞などがある。2016年、<sup>タイコース</sup>TaikoZの共同設立者のライリー・リー氏とイアン・クリワース氏は、日豪の友好親善関係の増進に大きな功績のあった個人として日本の外務大臣より表彰された。